

# 平成24年度事後評価箇所表

担当課〔農地整備課〕

番号	1	事業名 (路線名等)	県営中山間地域総合整備事業 白鳥大和地区
実施箇所	郡上市白鳥町、大和町地内		全体事業費 (当初3,780) 2,601百万円
採択年度	15年度	完了年度	22年度
事業目的	<p>農業生産基盤においては、剣用水をはじめ農業・生活用水として重要な役割を持つものの経年変化により老朽化の著しい農業用排水路の整備や、狭小な農道を整備することで、農産物の生産強化や農業所得の向上を図る。</p> <p>また、生活環境基盤においては、狭小な集落道路を整備することで、農業用関連施設や公共施設、交流施設などへの利便性を向上や、都市住民との交流を促進させ、地域の活性化を図る。</p>		
事業概要	<p>総事業費 2,601,334千円 受益面積 315.2ha 受益者数 959人</p> <p>主要工事計画</p> <p>農業用排水7,366m(10路線)、農道整備3,418m(4路線)、農業集落道路3,914m(8路線)</p> <p>営農飲雑用水施設160戸(1団地)、活性化施設290m<sup>2</sup>(1棟)、生態系保全施設773m(1路線)</p>		
概要図	別紙のとおり		

評価結果	
①住民参加・協働による効果	<p>【住民協働の取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成15～16年度に施工した生態系保全水路について、平成19年度に小学生、地域住民、及び行政関係者約40人で生き物調査を行った。調査結果として、平成15年度の調査時と比較して生物の増加が確認された。</li> </ul>
②事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>用排水路の改修に伴い、水路の維持管理や水管理における労力が軽減できた。</li> <li>農道整備・集落道路整備により、農業機械の搬入や農作物の運搬が容易になり、農作業の効率が良くなった。</li> <li>営農飲雑用水施設の整備により、農業用水及び生活用水の安定供給が可能になった。</li> <li>活性化施設は、住民の地域活動や交流の場として利用されており、計画利用者数966人に対して、平成23年度の利用者数は1,050人であった。</li> </ul>

### ③環境面への配慮

#### 【環境配慮項目】

生態系保全施設整備の対象水路では、プレハブ水路を自然石で整備することで、生態系に配慮した構造とした。

### ④事業を巡る社会情勢の変化

- ・郡上市においては、旧郡上郡 7 町村が平成 16 年 3 月 1 日に「郡上市」として新設合併した。
- ・今年度の「道の駅古今伝授の里やまと」における朝市での販売額は、事業着手の平成 15 年と比較して約 3 倍に増加する見込み。
- ・農業者の動向では、平成 23 年度末時点で認定農業者 21 人、4 法人が 68ha を作付けしている。（着手時点 認定農業者 13 人、1 法人で 26ha）

### ⑤利用者・地域住民等への効果

#### 【利用者、地域住民等の意見】

当事業の効果について、受益者及び地域住民を対象にアンケート調査を行った。

#### 農業用排水路施設整備

幹線用水路の整備により、用水不足の解消・維持管理の軽減に効果があったとする回答が大半を占めたものの、支線水路の整備の遅れを指摘する回答も見受けられた。

#### 農道・集落道路整備

利便性の向上が図られたとした回答が大半を占める結果となったが、2 車線化を期待する回答も見受けられた。

#### 営農飲雑用水施設

浄水場の改築工事により水利用が改善されたこともあって、農業用水及び生活用水とも安定した水利用が出来るようになったとする回答が大半を占めた。

#### 活性化施設（蛍光館）

施設の整備に伴い、講習や会議などの場として活用しているとの回答が多く寄せられた。

また、ホテルを対象とした生態系保全施設の整備によって、学童の環境学習の場としても活用されている。

#### 【今後の事業評価の必要性】

今後の事業評価は必要としない。

- ・農業用排水路等の基盤整備による営農条件や、集落道等の整備による生活環境の改善効果が認められる。
- ・活性化施設を核とした地域活動の増大や都市住民との交流に取り組んでいるなど、地域の活性化も図られている。

#### 【改善措置の必要性】

特になし

#### 【新規事業へ適用すべき留意点】

- ・ワークショップ等を活用し、事業制度への理解とともに、住民協同による整備計画の作成への取り組み。
- ・集落周辺には排水路整備に伴うフェンス等の転落防止対策など、防災面にも十分な配慮が必要。
- ・経済性に考慮しつつも、消雪を考慮するなど、施設を取巻く諸条件に対応した構造の採用。